

茨城県内「地方創生」事業実績例

（「まち」「ひと」「しごと」をITと専門ノウハウを活用して、
様々な地方創生を実現いたします。

ITを活用した事業実績メニュー

- | | |
|--------------------|---------|
| 1. 結城市魅力再発見事業 | (結城市) |
| 2. 常陸大宮市の産業振興 | (常陸大宮市) |
| 3. 東海村子育て支援事業 | (東海村) |
| 4. 高萩市IターンUターン促進事業 | (高萩市) |
| 5. 常陸太田市定住促進事業 | (常陸太田市) |



株式会社ヘレナメディアリサーチ
ヘレナ地域経営研究所

茨城県土浦市小松1丁目31-2

TEL 029-822-9601 F A X 029-824-8402

<http://www.helena.jp>

はじめに

弊社は35年の長い経験と800社に及ぶお取引実績が安心・信頼の証です。

ヘレナ地域経営研究所は街づくり・街興しの業務で35年の長い経験と多くの自治体のお取引実績を持つ地域活性化を目的とするコンサルティング会社です。

一方弊社の母体であるヘレナメディアリサーチはITを専門とするPR会社として800社のお取引実績を頂いています。昨年より始まった地方創生（ひと、まち、しごと）事業では、こうしたノウハウと技術を駆使して、各自治体様に特徴のある独自の地方創生策をご提案し多くの実績をいただきました。

各自治体担当様には28年度創生策立案の一助としてここに27年度の事業実施例をご紹介します。

皆様の地域を思う熱い思いと弊社のノウハウで本年度効果が見える地方創生策が実施されることを願っております。お問い合わせご相談いただけますことを心よりお待ちしております。

ヘレナ地域経営研究所 シニアアドバイザー 井上 正美



茨城県まちづくりグリーンリボン賞受賞

主な所属履歴

- 茨城明日の地域作り委員会で文化事業を担当する (茨城県広報広聴課主催)
- 茨城イメージアップ懇談会に県南委員として発表 (" 企画調整課 ")
- 大好きいばらきネットワーカーに選任される (大好き茨城県民会議)
- 茨城県人口300万人達成記念事業検討委員 (茨城県企画調整課 ")
- 茨城県公共事業再評価委員会の委員 (茨城県政策審議室 ")
- 茨城県地域メディア研究会 (茨城県広報広聴課 ")
- 茨城IT戦略研究会のコアメンバー (常陽地域研究センター)
- 茨城県IT戦略会議民間代表 (茨城県政策審議室)
- 茨城県高校教育改革推進本部会議の参考人 (茨城県教育庁)
- 茨城県職業能力開発会議の参考人 (茨城県職業能力開発課)
- 茨城県図書館の情報化委員 (茨城県教育庁)

主な活動履歴

- | | | | |
|-------------------|---------|----------------|---------|
| ● 茨城県地域メディア研究会 | 委員 | 茨城県明日の地域づくり委員会 | 委員 |
| ● 茨城県情報サービス産業協会 | 会員 | 茨城県公共事業再評価委員 | 委員 |
| ● 茨城県IT戦略会議 | 委員 | 茨城県ITフォーラム | 代表幹事 |
| ● 茨城産業会議IT化対策専門部会 | 委員 | 土浦法人会青年部 | 理事 |
| ● 茨城映像文化連盟 | 理事 | 土浦商工会議所 | 議員 |
| ● 茨城県図書館の情報化委員会 | 委員 | 大好きいばらき県民会議 | ネットワーカー |
| ● (有)まちづくりカンパニー | 代表取締役社長 | つくばサイエンスアカデミー | 会員 |
| ● 茨城デザイン振興協議会 | 委員 | 都市エリア産学官連携事業 | 委員 |

1、「結城市」実績紹介

弊社の地域経営研究所が実施した実績事例

目的

結城市の魅力度を再構築して、転出者の防止及び新規規定住者の促進を図る。
併せて観光客の増員を狙う。

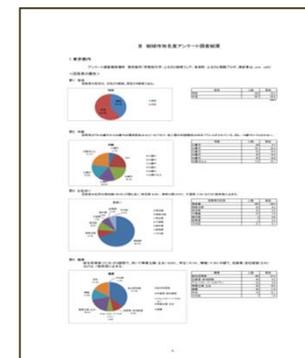
具体策

● アンケート調査の実施

結城市は無論の事、都内や結城市周辺地域でアンケート調査を実施。結城市のイメージや街の認知度について様々な意見を収集し分析を行った。
またアンケート回答者には結城市オリジナル買い物バックを進呈した。



買い物バック



アンケート集計表

● 広報・PR物の作成

上記分析を踏まえ隠れた魅力や埋もれた観光資源を発掘しそれらを様々な広報物として制作した。



ポスター



ホームページ

1、「結城市」実績紹介

弊社の地域経営研究所が実施した実績事例

具体策

●イベントの実施

イベントとして市内の隠れた名所、旧跡、景勝地等「お宝発見フォトコンテスト」と題して写真展示を実施。市民がこれまで気づかなかった新たな結城市の魅力の再発見となった。



イベント告知



お宝発見フォトコンテスト

●本イベントの実施

年度終了時期に総仕上げとして魅力創出シンポジウム及び市民総決起大会を実施。自分たちの地域への自信と誇りを創出すると共に、来訪者へ向けて結城市の魅力発信を強化した。



イベント告知



魅力創出シンポジウム



市民総決起大会

2、「常陸大宮市」実績紹介

弊社の地域経営研究所が実施した実績事例

目的

産業振興による街の活性化を目指し、道の駅を基軸に農特産品の販売促進はもとより、観光情報等も発信し街の地域振興全体に寄与。

具体策

●農産品・特産品の瞬時的な情報提供

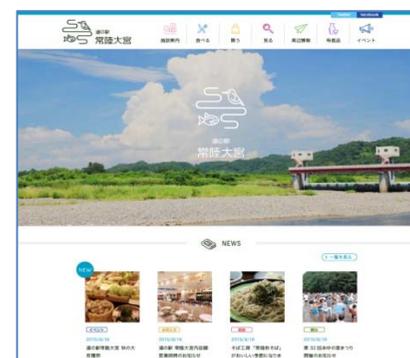
道の駅に来訪するお客様に瞬時に本日のお買い得情報を提供する仕組みとしてデジタルサイネージを導入。静止画は無論の事動画や音声で常陸大宮の特産品を紹介する。



デジタルサイネージ

●スマホやホームページとの連動

道の駅に置かれたデジタルサイネージはスマホサイトやPCサイトとも連動し、農産品の販売促進に役立つだけでなく、来訪者に観光案内も併せて提供し、宿泊や飲食店への誘導も可能にし、地域の産業振興全体にも寄与した。



ホームページ



スマホサイト

3、「東海村」実績紹介

弊社の地域経営研究所が実施した実績事例

目的

東海村では村内の子育て世代により良い環境を整えるため、スマホを利用して安心・快適に子育てができる仕組みを提供した。

具体策

●子育て支援ポータルサイトの構築

妊娠から出産、育児に至るまでトータルに支援する子育てポータルサイトを構築した。子育てカレンダーや外国語自動翻訳等最新の技術が盛り込まれた。



子育てポータルサイト

●スマートフォン用アプリの開発

上記コンテンツのスマホ版の作成は無論の事、様々なお知らせ機能や連絡機能等安心快適に東海村で子育てが出来る様機能の充実を図った。



スマホサイト

4、「高萩市」実績紹介

弊社の地域経営研究所が実施した実績事例

目的

近年の人口減少に伴いIターン、Uターンを促進して定住・交流人口の増加を実現するために実施。

具体策

●多チャンネルで全国発信

若者を中心にIターン、Uターンを促進して定住人口の増加を実現するために、高萩市の持つ地域資源を様々なチャンネル（ウェブ、電波、紙媒体、SNS）を作成し、全国に広く情報発信。



ポスター・情報誌



PC・スマホサイト



動画サイト (Youtube)



SNS (Facebook、Twitter)

●広報・PR物の作成

移住・交流、地域おこしフェアに参加。
上記広報・PR物を活用して積極的に移住促進活動を展開した。



移住・交流・地域おこしフェア

5、「常陸太田市」実績紹介

弊社の地域経営研究所が実施した実績事例

目的

少子高齢化が顕著に進む常陸太田市では、次世代を担う若者たちに本市で子育てを行う環境が整っていることを知らしめ人口増加を狙う。

具体策

●キャラクター『じょうづるさん』の作成

常陸太田市の市章である鶴の絵柄をもとにキャラクターを作成。後にその反響の多さから着ぐるみも作成され市の広報部長に就任。子育てPR活動の強化に役立てた。



「じょうづるさん」



市の広報部長就任式

●広報・PR物の作成

常陸太田市子育て支援策の広報・PR活動及び定住促進を目的にし、テレビ、新聞等に取り上げられた。



活字媒体（ポスター・市章）



ホームページ



映像媒体



SNSサイト

5、「常陸太田市」実績紹介

弊社の地域経営研究所が実施した実績事例

●街頭PR及び新聞・テレビ等メディアでの露出作戦

市のマスコットで広報部長である「じょうづるさん」を県内の人口10万以上の都市を中心に街頭PRを実施併せてパブリシティーを仕掛け、テレビ、新聞等に取り上げられ、常陸太田市での子育てのメリットを広く知らしめる活動を展開。



街頭PR



新聞・雑誌



テレビ

●子育てフェアの開催

本市からの子育て世代の流出阻止と他地域からの編入を目的に若年層親子を対象に子育てフェアを開催。



イベント

●地域活性化にも寄与

「じょうづるさん」を起用した子育て支援策の広報・PR活動の波及効果として市内事業者によるグッズの制作や有料「LINEスタンプ」による収入等地域の活性化にも大きく貢献した。



LINEスタンプ



グッズ販売

6、今後ご提案したい案件

弊社の地域経営研究所が実施した実績事例

目的

空き家・空き店舗情報の掲載で地域活性化

具体策

●子育て応援不動産サイト

移住・転入の大きな動機に、住居環境と地域環境が上げられます。子育てを目的とする世帯に向けて、転居の決め手となる売り物件・賃貸住宅などの情報を、周辺の自然環境や保育園、幼稚園、学校、医療施設などとの位置関係や利用情報とともに掲載。併せて、“ファミリーサポートセンター”や“放課後こども教室”などの子育て支援施設やサービスとの関係も掲載することで、転居後の生活スタイルが想定できます。また、子育てに特化した検索項目や、環境・景観に特化した検索項目を配置することで、希望する生活スタイルが想定出来ます。

- 例
- 幼稚園・保育園に歩いて通える
 - 産科病院まで15分圏内
 - 庭からの眺望GOOD
 - 犬もよろこぶ広い庭
 - 子育て地域コミュニティあり
 - 助成金制度のある物件
 - 農地が使える古民家

等



7、今後ご提案したい案件

弊社の地域経営研究所が実施した実績事例

目的 インバウンド（外国人来訪）促進企画

具体策

- AR型多言語対応案内看板

2020年の東京オリンピックを見据えて、国内はもとより国外からの来訪者に対し、市内の様々な行政・公共施設（市民会館、図書館）から観光施設や飲食・宿泊案内まで情報及び案内機能を充実し、質の高いおもてなしを実現するとともに、市内商業者の活性化にも寄与する企画です。

看板にはスマホで読み取れるARコードが埋め込まれており、来訪者が主な施設の概要を知りたいとき、道を知りたいとき、看板にスマホをかざすと希望の情報（多言語ウェブサイト、地図、動画等）が入手できる仕掛けです。誘導先には自動翻訳機能が搭載され、47国以上の国々の言語が翻訳されるので、これにより来訪者の利便性向上や市内事業店舗の利用促進につながる企画です。



弊社では、茨城県庁外国語版ホームページ(英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タイ語)をはじめ、数々の外国語版ホームページやビデオ/DVD、パンフレットなどを翻訳・制作しております。

7、今後ご提案したい案件

弊社の地域経営研究所が実施した実績事例

● A R 「ヘレなび」を使用した案内看板と各コンテンツを結ぶ仕組みの説明

弊社最新技術A R（拡張現実）を応用した「ヘレなび」を用いて、案内看板をスマホでかざすとウェブへの誘導や動画が再生され、観光・施設案内や店舗誘導に大きな効果を発揮します。

